

第3学年 学級活動(2)

【生活上の課題を自分のものとして真剣に考え、具体的なめあてや解決方法を意思決定して、主体的に実行しようとする姿】をイメージした授業

東和小 大和田 樹

1 年間指導計画における夢中になって学ぶ姿

時間	題材名	学習活動(夢中になって学んでいる姿)	資質・能力等
1	気持ちのよいあいさつ(ア)	・気持ちよく学校生活を送るためには、どのようなあいさつをすればよいかについて考え、話し合っている。	・気持ちのよいあいさつをするために、自分に合っためあてを意思決定することができる。(思・判・表)
2	災害から身を守るためには(ウ)	・地震や水害などの災害から自分の命を守るためには、どのような心がけと行動が必要かを考え、話し合っている。	・自分の命を災害から守るための正しい知識を身につけることができる。(知・技)
3	よい歯にかわ〜れ(ウ)	・健康な歯や歯茎を維持するためには、どのような生活習慣を身につければよいかについて考え、話し合っている。	・むし歯や歯周病にならないために、自分に合った生活上のめあてを意思決定することができる。(思・判・表)
4	なかよしになるまほうの言葉(イ)	・友だちと仲よく学校生活を送るためには、どのような言葉づかいや話し方をすればよいかを考え、話し合っている。	・友だちと仲よく過ごすための話し方を考え、自分に合っためあてを意思決定することができる。(思・判・表)
5 本時	わすれ物ゼロ作戦(ア)	・忘れ物をしてしまう原因や忘れ物をしないための生活習慣について考え、話し合っている。	・忘れ物をしないようにする方法を考え、自分に合っためあてを意思決定することができる。(思・判・表)
6	放射線教育(ウ)	・身の回りに存在し、利用されている放射線についての正しい知識を学ぶとともに、放射線関係の偏見や差別等について考え、話し合っている。	・放射線の性質や放射線が及ぼす健康への影響について、正しい知識を身につけることができる。(知・技)
7	協力するってどういうこと(イ)	・学校生活を送る上で、他の人と協力することの価値や大切さについて考え、今後どのように生活していくかを話し合っている。	・友だちと協力するために、自分にできることを意思決定することができる。(思・判・表)
8	早ね早起朝ごはん(エ)	・早寝や早起きができなかったり、朝ご飯を食べられなかったりする原因について振り返り、どのような生活習慣を身につけるべきか、話し合っている。	・「早寝早起朝ご飯」を実践するために、自分に合った生活上のめあてを意思決定することができる。(思・判・表)

2 本時における研究の視点

視点Ⅰ【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

① アンケート結果をグラフ等に表し、画像に映し出すことで、自分たちの実態や現状を把握させ、課題をつかませる。

<グラフを見た児童の反応>

T:「あなたは、忘れ物をしますか?」というアンケートへの回答結果がこれです。

C: えー! 赤とかピンクばかりじゃん!

(赤・・・よく忘れる, ピンク・・・ときどき忘れる。)

T: 他に気づいたことはあるかな?

C: あっ! 忘れ物をしたことがないって人が0人だ!

C: みんな、忘れ物しているってこと?

C: まずい・・・。もう3年生なのに・・・。



② 学級全体の問題であることを共有するとともに、教師との話合いを通して自分事としてとらえさせる。

このアンケートを見て気づいたことは?

3年生になっても、こんなに忘れ物をしてしまっているのは、まずいと思う。

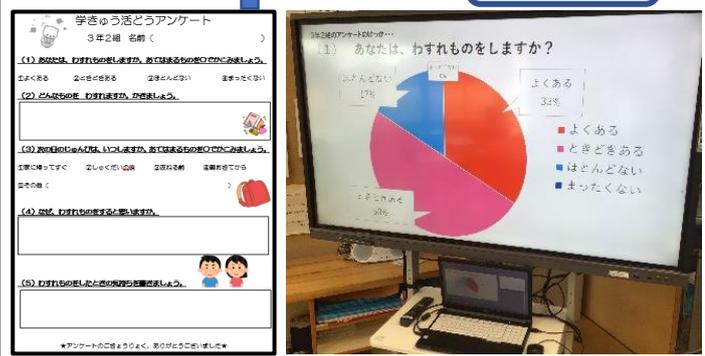


視点Ⅱ【学びの連続性につながる振り返り】

○ 実践意欲の継続化を図るために、具体的なめあてを決めて、実践カードに記入させる。

○ 事前に実施したアンケートの結果をグラフ等に表し、その画像を拡大して映したり、掲示したりすることで、自分たちの実態や現状を把握させ、課題をつかませる。

グラフ化

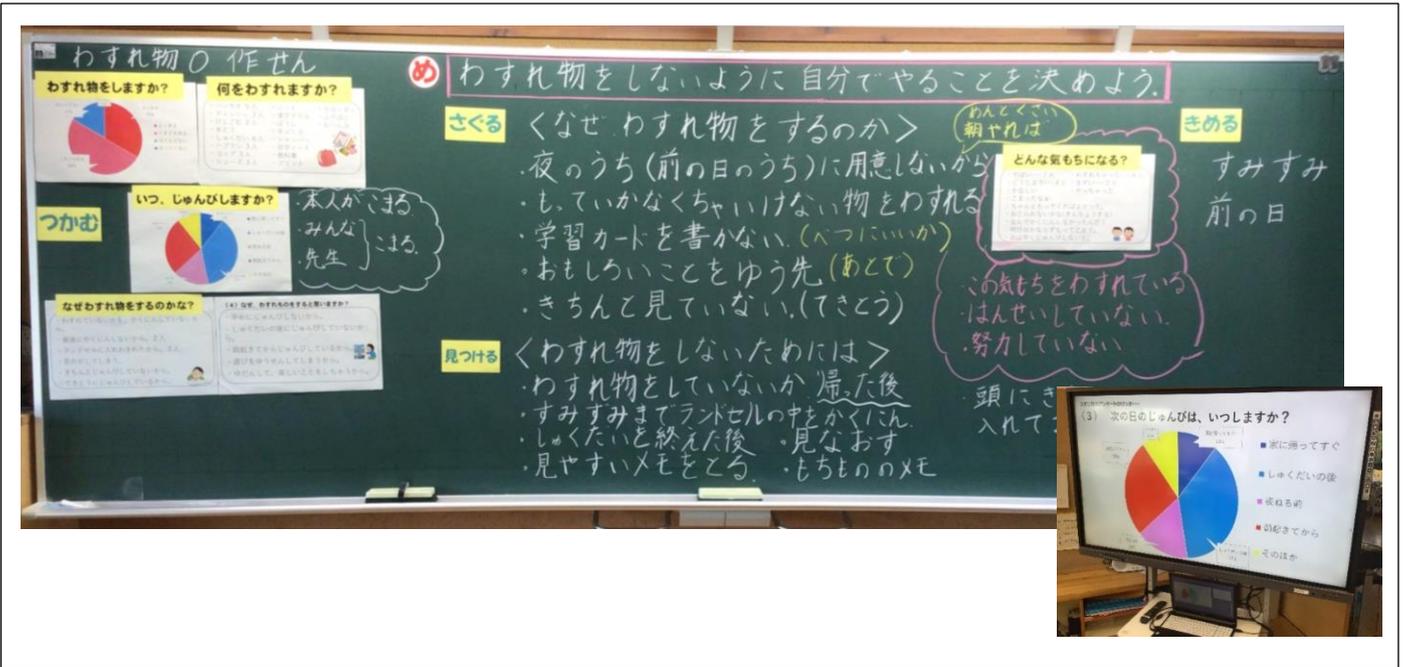


<児童の振り返りから>

★ ぼく・わたしがきめた「めあて」
わすれものをゼロにするために、気をつけて生活してみようと思うことを書きましょう。
「〇〇に〇〇してしゅんびしたい。」「△△という気持ちで生活したい。」など。
※「いつ」「どのように」など、**くわしく**。
「いつも忘れ物をした時、家に帰っていないから、これからは、ママやお父さん、一緒にメモを取って、忘れ物をへらすようにがんばる。」

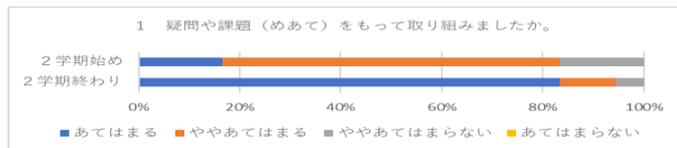
★ 月ごとに自分の生活を振り返りましょう。(◎・○・△)
10月18日 (◎) 10月19日 (◎) 10月20日 (◎) 10月21日 (◎) 10月24日 (◎)
★ 自分の生活を振り返って(10月29日)
前の日にしゃみをして、夜もかくにんして、朝の時間もかくにんしたら、おれはめいめい、これで、これからは、おれも忘れ物をしないうぞ。

★板書を創る【本時のねらいに基づいた板書案の作成】

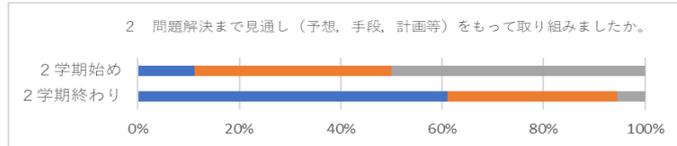


3 アンケートの結果から

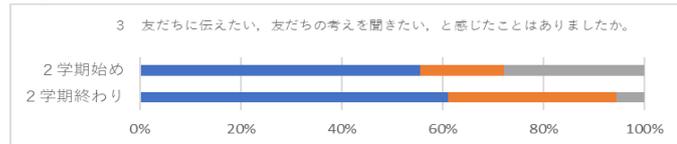
① 関心・意欲, 課題意識



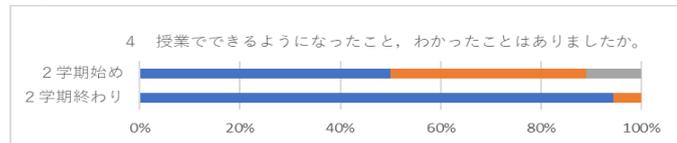
② 見通し



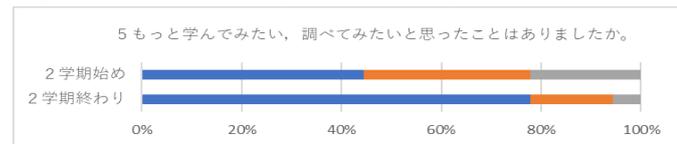
③ 話し合い・学び合い(協働の学び)



④ 振り返り



⑤ 新たな学びへ (学びの連続性)



4 考察【○成果 ●課題と改善策】

【視点Ⅰ】

- アンケート結果の画像を大きく映したことで、「忘れ物をしたことがない人がいないよ」という発言があり, 問題意識を高めることができた。

- 自分の生活をふり返りながら, 話し合うことで, 「忘れ物をしている」という自分の課題に気づかせることができた。

- 学級の課題を自分事としてとらえさせようと, アンケートの結果を把握させることに時間をかけすぎてしまった。アンケートの結果の提示の仕方を工夫し, 課題を焦点化するための話合いの時間を確保すべきだった。

【視点Ⅱ】

- 実践カードに具体的なめあてや実践のふり返りを記入させたことにより, 授業後の実践時だけでなく, その後の生活の実践意欲も高めることができた。

(アンケート結果④⑤)

- 終末の「決める」の段階でめあてを記入させた後に, 他の児童のめあて (考え) にふれさせる時間が少なかった。導入の「つかむ」の時間を短くし, 互いの意見を発表したり, 話し合ったりする時間を十分に設け, 自分以外の意見のよさにも気づかせたい。

【その他】

- 板書構成の中に「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」という項目を掲示することで, 学びのプロセスを把握しやすくすることができた。

実際の指導案はこちらへ